

平成28年3月8日

1 審査付託事件

- 認定第29号 平成28年度土幌町一般会計予算
認定第30号 平成28年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算
認定第31号 平成28年度土幌町後期高齢者医療事業特別会計予算
認定第32号 平成28年度土幌町介護保険事業特別会計予算
認定第33号 平成28年度土幌町介護サービス事業特別会計予算
認定第34号 平成28年度土幌町簡易水道事業特別会計予算
認定第35号 平成28年度土幌町公共下水道事業特別会計予算
認定第36号 平成28年度土幌町農業共済事業特別会計予算
認定第37号 平成28年度土幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員（10名）

細井 文次 和田 鶴三 秋間 紘一 河口 和吉 清水秀雄 飯島 勝
出村 寛 森本 真隆 加藤 宏一 中村 貢

3 欠席委員（1名）

大西 米明

4 説明のため出席した者

町長 小林 康雄 教育長 堀江 博文
代表監査委員 佐藤 宣光

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長 柴田 敏之 保健医療福祉センター長 山中 雅弘
総務企画課長 寺田 和也 会計管理者 土屋 仁志
町民課長 波多野 義弘 保健福祉課長 大森 三宜子
産業振興課長 高木 康弘 産業活性化担当課長 亀野 倫夫
建設課長 増田 優治 道路維持担当課長 佐藤 英明
子ども課長 高橋 典代 特老施設長 金森 秀文
病院事務長 山下 慎也
ほか、関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事 玉堀 泰正 教育課長 辻 亨
給食センター所長 鈴木 典人 高校事務長 藤村 延
ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 細野 幸彦

8 職務のため出席した議会議務局職員

事務局長 瀬口 豊子 総務係長 藤内 和三

9 議事録

(午後 2時40分)

瀬口議会議務局長	ただいまから予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第8条の規定に基づき清水秀雄委員に臨時委員長をお願いいたします。
清水臨時委員長	臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選にしたいと思えます。異議ございませんか。 (異議なし)
清水臨時委員長	異議なしと認めます。したがって、委員長選挙は臨時委員長が指名することに決定しました。 お諮りします。委員長に細井文次委員を指名します。異議ありませんか。 (異議なし)
清水臨時委員長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました細井文次委員が予算審査特別委員会委員長に当選されました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。 暫時休憩
細井委員長	休憩前に引き続き委員会を開きます。 これより副委員長選挙を行います。 お諮りします。副委員長選挙は、委員長による指名推選にしたいと思えます。異議ありませんか。 (異議なし)
細井委員長	異議なしと認めます。したがって、副委員長選挙は委員長が指名することに決定しました。 お諮りします。副委員長に加藤宏一委員を指名します。異議ありま

説明	細井委員長	<p>せんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、ただいま指名しました加藤宏一委員が予算審査特別委員会副委員長に当選されました。</p> <p>ただいまより予算審査特別委員会を行います。</p> <p>本委員会の運営について特段のご協力をお願いいたします。</p> <p>審査の方法は、理事者からの総括説明の後、各款ごとに説明を受け、質疑の後、各会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これに異議ありませんか。</p>
	細井委員長	<p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、審査方法は各款ごとに説明を受け、質疑の後、各会計ごとに討論、採決することに決定しました。</p> <p>なお、説明員の交代につきましては、その都度休憩を宣言して行いますので、あらかじめご了承願います。</p> <p>平成28年度土幌町一般会計予算を議題とします。</p> <p>理事者の総括説明を求めます。副町長、登壇願います。</p>
	柴田副町長	<p>それでは、平成28年度予算の総括説明をさせていただきます。平成28年度予算説明資料により説明をさせていただきます。</p> <p>まず、1ページでは平成28年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載をしておりますが、一般会計では72億4,600万円で、対前年度比4億3,100万円、6.3%増の予算となりました。</p> <p>国保会計は、前年度より0.5%減の12億668万2,000円とほぼ前年度と同様の予算となりました。</p> <p>後期高齢者会計も国保会計同様、0.4%増の9,563万7,000円と前年度並みの予算額となったところであります。</p> <p>介護保険会計では、施設利用に係る介護給付費が大幅に伸びたことから、前年度比6.3%、約3,900万円増の6億6,353万6,000円となりました。</p> <p>介護サービス会計では、介護報酬引き下げと短期利用者の減少により前年度比約1,100万円、2.1%減の5億1,435万5,000円となったところであります。</p> <p>簡易水道会計では、道営営農用水事業で平成27年度の繰越事業に予算化したことから前年度比25%、約9,100万円減の2億7,384万3,000円となりました。</p> <p>下水道会計におきましては、施設の老朽化による維持管理経費の増加により前年度比6.6%、約950万円増の1億5,326万7,000円となりました。</p>

共済会計では、農作物及び畑作物勘定で基準単収や共済掛金率の上昇、家畜勘定では1頭当たりの評価額が上がったことなどにより、全体では前年度比で19.5%増の15億376万9,000円の予算となったところであります。

病院事業会計においては、前年度より1日平均の入院で1名少ない48人、外来で26.1人少ない1日当たり83.7人とし、これにより経費等も減額を見込みましたが、給与費や減価償却費の増加により、収益的支出では前年度比約4,400万円、4.86%増の9億6,314万1,000円となり、一般会計からの繰入金を前年度と同様2億6,000万円としたところであります。資本的支出では、医療機器の購入費や病棟エアコン増設費などにより前年度比10.7%増としたところであります。

全会計の総額は127億1,080万2,000円、率で5.6%の増の予算となったところであります。

2ページ目は、平成28年度一般会計の歳入歳出別の対比表であります。円グラフの外側が28年度でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でありまして、地方交付税の減により一般財源が減となった一方、新道の駅建設に係る財源として地域活性化事業債の借り入れにより特定財源が4億5,900万円、4.0%と大幅に増加をしたところであります。下段のグラフが歳出でありまして、同じく新道の駅等の普通建設事業費の増により投資的経費の割合が1.8%、2億2,000万円ほどふえたところであります。

3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表であります。左側が歳入であります。先ほど説明したとおり地方交付税の減少により3.9%の減、一方町債が5.3%の増加となりました。右側が歳出でありまして、道の駅関連で商工労働費が8.9%と大きくふえ、民生費では子ども交流センターの建設事業が終了し、土木費でも若葉団地の公営住宅新築工事が終了したことにより、構成比ではそれぞれ減少となったところであります。

次に、4ページ、5ページをお開きください。性質別の歳出予算額調べであります。人件費につきましては金額で微増となっておりますが、職員給では人数が減となったことから減少となっております。物件費の10.6%の伸びにつきましては、新道の駅建設に係る備品購入費等による増及び消防団に係る経費を負担金から直接経費に予算化したことから、消防車の購入経費を含む消防団費の物件費に係る予算額が増加したことによるものであります。維持補修費につきましては、北中小学校の教員住宅を移住者促進住宅としての改修費や道路維持の職員減により委託業務を増額したことにより、11.6%の伸びとなったものであります。補助費につきましては、ふるさと納税の報償費の増額及び基幹作物輪作維持支援事業助成金の創設により、9.2%の増となったところであります。普通建設事業につきましては、新道の駅建設

事業により単独事業では38.7%増となった一方、道営事業が27年度の繰越事業となったことから49%の減となりました。その他につきましては、昨年度とほぼ同様な構成比となっております。

6ページ、7ページでは、節別の歳出予算額調べであります。職員手当の4.6%増につきましては、3年に1度の退職手当組合への負担金の精算があるためであります。賃金では、定年退職者の再任用に係る臨時職員賃金や中士幌出張所の人件費に相当する分についても委託料から臨時職員賃金に組みかえをしたことにより、8.8%の増となったものであります。報償費では、ふるさと寄附報償の増額によるものであります。旅費の増額につきましては、新たに設けた消防団費の中で消防団員の費用弁償に係る分が主な増の要因であります。役務費では、ふるさと寄附の返礼品や運搬料や移住等のPRに係る広告料の増によるものが主な要因であります。建設工事費では、子ども交流センターの新築工事、若葉団地公営住宅の新築事業の終了による減とともに、新道の駅建設工事の増額により、約3億3,400万円、43.9%の伸びとなったものであります。備品購入費では、新道の駅に係る備品や消防車の購入に係るもので79.4%の伸びとなりました。貸付金では、第三セクターの貸付金の減によるものであります。補償補填及び賠償金では、土地改良事業及び土木費の補償費の増が主なものであります。それ以外につきましては、性質別予算額調べの説明と重複をいたしますので、省略をさせていただきます。

次に、8ページの性質別歳出予算財源内訳ですが、特に新道の駅建設事業に係る地方債が大きくなっております。その他につきましては、前年度並みとなっているところであります。

次に、9ページ、10ページですが、ここは建設事業費に関するものであります。まず、1の補助事業でありますけれども、新道の駅建設に係る電気自動車の充電施設設置に対し、補助事業としたものであります。社会資本総合整備交付金事業として、継続事業で防雪柵を含めると4路線と橋梁長寿命化修繕は前年度と同様に2橋の事業を見込んでおります。また、年次的に実施する橋梁点検は80橋、新たに舗装長寿命化といたしまして土幌26号線を実施いたします。また、公営住宅建替事業では、平原及び陸団地の公営住宅の建てかえに係る実施設計及び解体工事の事業費を見込んだところであります。

次に、単独事業分といたしまして、新道の駅建設事業として本体と外構の整備分として6億3,901万円で、そのうち地方債は5億7,510万円であります。農道事業では、上居辺東6線の調査設計等に5,100万円、地方道路事業は継続2路線及び舗装長寿命化としまして7,000万円、このうち地方債は6,300万円であります。子ども交流センター外構整備に1,089万円などを計上し、単独事業の合計では前年度より約3億3,700万円ほどの増となったところであります。

		<p>道営林道事業では、前年度同様ワッカ美加登線の開設事業分の負担金を計上し、道営土地改良事業では、先ほども説明いたしました、平成27年度繰越事業としたため、本年度分の事業量が減少いたしました、6地区分に6,790万円を計上いたしました。</p> <p>最後に、失業対策事業分では、昨年度と同様に町単独事業分の約300万円余りを計上したところであります。</p> <p>次に、11ページには国費、道費による各種事業導入調べでございますけれども、記載のとおりであります。</p> <p>12ページ、13ページは、新道の駅の外構、建築の平面図であります。</p> <p>14ページから16ページは、建設事業及び町有林管理事業、土地改良事業及び土木事業の施工箇所を載せておりますので、参照願いたいと思います。</p> <p>以上、平成28年度一般会計予算の概要説明とさせていただきます。</p>
<p>説明</p>	<p>細井委員長</p>	<p>総括説明が終わりました。</p> <p>これより議事に入りますが、説明に当たり、新規事業については詳細な説明をお願いいたします。</p> <p>なお、本日は議会費、総務費の説明のみを行い、質疑は明日行います。</p> <p>質疑は、1人1問とし、さらに質疑があれば、他の委員の質疑が終わってから許すことにしたいと思います。なお、関連で質問される場合は、第1の質問者の質疑が終わってからされるようお願いいたします。質疑の際は、マイクボタンを押し、予算書のページ数を明示の上、簡潔明瞭にお願いします。</p> <p>最初に、議会費、総務費の説明を求めます。議会事務局長。</p>
	<p>瀬口議会事務局長</p>	<p>33ページ、議会費について議会事務局長、瀬口より説明申し上げます。</p> <p>1款1項1目議会費の予算総額は8,171万円で、対前年度比744万5,000円の減額となっております。主な要因は、2節給料から4節共済費のうち、職員人件費分で266万7,000円の減、同じく4節の議員共済組合負担金では標準掛率引き下げに伴い653万8,000円の減、9節旅費では道外行政視察計画により106万9,000円の増、11節需用費の印刷製本費で議会だより2回分のカラー及び2色刷り発行に伴い27万7,000円の増、13節委託料は議会ホームページ上に新たに議会スケジュールを掲載するためのデータ制作費7万1,000円を計上いたしました。そのほかの節につきましては、前年の実績等を見込み、予算を計上したところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
	<p>細井委員長 寺田総務</p>	<p>総務企画課長。</p> <p>総務企画課長、寺田より説明申し上げます。</p>

企画課長 34ページ、2款1項1目一般管理費でございますが、予算額は3億9,973万円で、前年度対比4,429万6,000円の増額で、その主な内容としていたしましては、2節、3節、4節の人件費で3,708万3,000円の増額、7節賃金で地域おこし協力隊賃金を含め839万2,000円の増額となっております。35ページ、11節需用費は消耗品費、燃料費、修繕料の減、中士幌出張所分の電気料、ガス代、上下水道料の増により、差し引き121万5,000円の減額、12節役務費では郵便料、その他手数料の減、中士幌出張所分の電話料の増で、差し引き14万6,000円の増額、36ページ、13節委託料は役場庁舎、コミセン管理業務、自動ドア保守点検、健康診断、例規整備支援業務で81万6,000円の増額、14節使用料及び賃借料は複写機使用料の減、中士幌出張所分の放送受信料、清掃用具使用料の増により、差し引き25万9,000円の減額、18節備品購入費はコミセン椅子及び事務椅子購入で78万3,000円の減額となっております。これら以外の費用につきましては、前年度とほぼ同様でございます。特定財源の内訳は、職員給与費負担金、権限移譲交付金を記載のとおり充当しております。

次に、2目文書広報費は予算額511万2,000円で、前年度対比21万6,000円の増額で、その内訳は11節需用費で印刷製本費で1万1,000円の増額、13節委託料で公式ホームページのキッズページを改修を予定いたしましたして20万8,000円を増額しております。特定財源といたしまして、自衛官募集事務委託金を充当しております。

37ページ、財産管理費では予算額は4,384万7,000円で、前年度対比838万9,000円の増額で、その主な内容としていたしまして11節需用費で北中音更小学校教員住宅の電気料、修繕料などで404万6,000円の増額、12節役務費ではリサイクル手数料、消火器処分料、自動車保険料、火災保険料、車検手数料などで95万8,000円の増額、13節委託料で町有地環境整備、浄化槽管理、公共施設ごみ収集で25万5,000円の増額、18節備品購入費で消火器購入、公用車更新で299万3,000円の増額、27節公課費で14万6,000円を増額しております。これ以外につきましては、前年度とほぼ同様でございます。特定財源の内訳といたしまして、土地、建物使用料、土地、施設の貸付料、科目存置の売払収入、雑入金、一般単独事業債をそれぞれ充当しております。

以上で説明を終わります。

細井 産業振興課長。

委員長 産業振興課長、高木から説明いたします。

振興課長 38ページ、4目町有林管理費については、前年度比1,120万6,000円増の5,037万6,000円を計上したところです。増額の要因は、昨年10月の台風により発生しました町有林風倒木処理委託業務1,000万円を計上したことによるものでございます。2節から4節までは、職員2名

分の人件費であります。主な支出ですが、13節委託料では風倒木処理業務に1,000万円、15節工事請負費では造林、下草刈り、間伐、保育間伐事業に83万2,000円減の1,686万円、16節原材料費では造林用ヤチダモ、カラマツなどの苗木309万円を計上したところであります。100年の森づくり事業につきましては、平成25年度から進めているものでありまして、林道ワッカクンネップ線沿いの町有林約14haにおいて5月末に第3回町民植樹祭及び平成29年度の準備地ごしらせを行う経費として13節で100年の森整備委託料として40万4,000円、14節で簡易トイレ借り上げ料8万7,000円、16節、造林用苗木309万円のうちイタヤカエデ苗木20万6,000円など、合計71万4,000円を計上したところであります。それぞれの事業箇所、事業面積につきましては、説明資料14ページの平成28年度町有林管理事業位置図を参照いただきたいと思います。特定財源としましては、町有林造林事業補助金800万円、立木売払収入165万3,000円、間伐材売払収入108万円、被害木売払収入350万円であります。

以上で説明を終わります。

細井
委員長
寺田総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、寺田より説明申し上げます。

5目公平委員会費ですが、前年度と同額の予算額15万4,000円を計上しております。

39ページ、6目企画費では予算額7,269万8,000円で、前年度対比1,806万7,000円の減額となっており、その主な内容ですが、1節報酬でまちづくり総合計画策定終了に伴う町民会議の回数減で23万4,000円の減額、8節報償費でふるさと寄附報償、移住体験住宅利用者報償で2,648万円の増額、9節旅費で地域おこし協力隊研修旅費の増、町民会議費用弁償の減で差し引き23万6,000円の増額、11節需用費では協力隊の活動経費として消耗品費、リース車燃料代の増、移住体験住宅の電気料の減で差し引き14万4,000円の増額となったところでございます。12節役務費ではふるさと寄附に係る運搬料、その他手数料、郵便振替手数料、町PR用広告料で808万6,000円の増額、13節委託料では重点プロジェクト推進事業で100万円の増、空き家空き地情報調査に380万円を新規計上しております。また、公共施設管理計画策定業務で407万9,000円の減額、資産整備支援業務で111万2,000円の減、町づくり総合計画策定支援業務の完了により250万円が減となり、差し引きまして289万1,000円の減額となっております。14節使用料及び賃借料では、地域おこし協力隊の自動車及びコンピューター借り上げ料などで151万6,000円の増額となっております。40ページの19節負担金補助及び交付金では、地域おこし協力隊研修負担金3万円、婚活推進事業70万円を新規計上いたしまして、十勝圏複事務組合負担金の減な

どにより、差し引き59万6,000円の増額となっております。29節積立金の生き生きまちづくり基金積立金は、太陽光発電施設貸付料を財源に基金に積み立てておりましたが、本年度からその年の歳入を直接特定財源とし、基金からの繰り入れの予算化をやめることとしたため、利子収入分の2万6,000円を計上しております。これ以外につきましては、前年度とほぼ同様でございます。特定財源といたしましては、土地利用規制等対策事業交付金、移住体験住宅貸付料、ふるさと創生事業基金利子収入、生き生きまちづくり基金利子収入をそれぞれ充当しております。

続きまして、7目環境対策費は予算額601万9,000円で、前年度対比166万円の増額で、その内訳といたしまして、19節負担金補助及び交付金で環境自治体会議負担金を減額し、同会議土幌大会実行委員会負担金170万円を新規計上しております。なお、土幌大会の開催につきましては、平成29年5月の予定でございます。これ以外の費用につきましては、前年度と同様となっております。特定財源につきましては、愛のまち建設基金繰入金を充当しております。

以上で説明を終わります。

細井
委員長
波多野
町民課長

町民課長。

8目生活安全推進費について町民課長、波多野から説明いたします。本年度の予算額は376万3,000円で、前年度対比25万円の増額であります。その主な内容は、9節旅費で15万4,000円の増で119万3,000円、14節使用料及び賃借料で新たに8万7,000円を計上し、これは交通安全指導員の道東研修が前年度は帯広市で開催されましたが、本年度は弟子屈町で開催され、その宿泊と車借り上げを予定するものでございます。この他の節につきましては、事業実績等を勘案し、前年度と同様な額を計上しております。特定財源としまして、消費者行政活性化事業交付金9万円を充当しております。

以上で説明を終わらせていただきます。

細井
委員長
寺田総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、寺田より説明申し上げます。

9目情報管理費は予算額5,054万4,000円で、前年度対比1,471万6,000円の減額で、その主な内容は、42ページの12節役務費で電算機器等処分料で10万円の減額、13節委託料で電算機器保守管理でサーバー更新で37万5,000円の増、情報システム整備でセキュリティー対策システムの新規導入で165万4,000円の増、自治体クラウド事業で障害者システム機能の追加で73万4,000円の増、プログラム変更委託料で個人番号制度に係るプログラム変更の完了によりまして1,679万4,000円の減など、差し引きまして1,404万2,000円の減額となったところでござ

います。18節備品購入費では、パソコン購入費で機器単価の減によりまして57万4,000円を減額しております。これ以外につきましては、前年度とほぼ同様でございます。特定財源につきましては、社会保障・税番号制度システム整備費補助金を充当しております。

次に、10目地域生活交通確保対策事業費は予算額1,159万4,000円で、前年度対比434万3,000円の減額で、その内訳といたしまして、11節需用費は燃料費と修繕料で5万8,000円の減額、13節委託料でコミュニティバス運行経費で6万5,000円の減額、バス停看板等作成の完了によりまして40万円の減額、15節工事請負費はバスタッチ塗装工事の完了により132万円の減額、19節負担金補助及び交付金では地域生活交通路線維持費負担金実績見込みにより250万円減額しております。特定財源につきましては、国鉄土幌線基金利子収入及び同基金繰入金、愛のまち建設基金繰入金を充当しております。

続きまして、43ページ、11目協働推進事業費ですが、昨年度と同額の予算額1,591万5,000円を計上しております。特定財源は、ふるさと創生事業基金利子収入、愛のまち建設基金繰入金及び雑入であります有価物売却収入の一部を充当しております。

次に、12目諸費では予算額410万6,000円で、前年度対比756万2,000円の減額で、主な要因ですが、1節報酬で中土幌連絡所嘱託職員報酬の減、男女共同参画審議会の会議回数減で10万5,000円の減額、11節需用費では燃料費、修繕料の減、消耗品費でAEDパッド、電池購入による増で、差し引きまして17万3,000円の減額、12節役務費で防災バス車検に係る保険料、登録手数料で9万3,000円の減額、13節委託料では全国瞬時警報システム機器保守委託で受信機のオーバーホール経費として21万5,000円の増額、18節備品購入費では半自動除細動器、AEDの更新完了によりまして544万4,000円の減額、19節負担金補助及び交付金では上居辺地区、佐倉地区の100周年記念事業の終了によりまして200万円の減額、20節扶助費では災害救助用物資購入費を7万2,000円増額しております。これ以外の費用につきましては、前年度とほぼ同様となっております。

続きまして、44ページ、13目財政調整基金費は予算額118万3,000円で、前年度対比1,000円の増額で、利息分を基金に積み立てるものがございます。特定財源といたしまして、基金利子収入を全額充当しております。

次に、14目愛のまち建設基金費は予算額5,044万2,000円で、前年度対比4,003万7,000円の増額で、利息分を基金に積み立てるほか、ふるさと寄附に係る指定寄附金を積み立てるもので、特定財源として基金利子収入及び指定寄附金を全額充当しております。

続きまして、15目飯島賞贈呈基金費は予算額4万9,000円で、前年度対比同額で、表彰記念品を購入するもので、特定財源といたしまし

て基金利子収入と基金繰入金を全額充当しております。

次に、16目減災基金費は予算額167万8,000円で、前年度対比5万9,000円の減額で、利息分を基金に積み立てるもので、特定財源は基金利子収入を全額充当しております。

以上で説明を終わります。

細 井
委員 長
波 多 野
町民課長

町民課長。

45ページに移りまして、2項1目税務総務費について町民課長、波多野から説明いたします。

本年度の予算総額は6,351万7,000円で、前年度対比74万8,000円の増額であります。その主な内容は、2節給料から4節共済費の人件費に係る部分で職員の異動に伴う68万4,000円の増になっております。その他の節につきましては、事業実績等を勘案し、前年度と同様な額を計上しております。特定財源につきましては、土地精通者謝金2万円を充当しております。

次に、2目賦課徴収費ですが、本年度の予算総額は1,133万8,000円で、前年度対比363万4,000円の増額であります。その主な内容は、13節委託料の標準宅地鑑定評価業務委託料では3年ごとの固定資産税評価がえの基準年度、平成30年度に向け、宅地評価の基礎資料として340万2,000円を新たに計上し、14節使用料及び賃借料の軽自動車検査情報提供サービス利用料では登録して13年以上経過した軽自動車に重課、グリーン化特例の経過等の課税データ提供として地方公共団体情報システム機構、俗に言うJ-LISからの車検情報提供利用料として新たに3万2,000円を計上しております。46ページに移りまして、19節負担金補助及び交付金の十勝市町村税滞納整理機構市町村負担金で22万5,000円の増の68万2,000円で、これは滞納整理機構の引き継ぎ1件当たり負担金、今までの7万円が1万円上がり8万円に、また引き継ぎ件数10件を5件ふやして15件としたことによるものでございます。この他の節につきましては、事業実績等を勘案し、前年度と同様の額を計上したところでございます。45ページに戻りまして、特定財源につきましては、自動車臨時運行許可申請手数料3万円を充当しております。

続きまして、46ページに移りまして、3項1目戸籍住民基本台帳費では本年度の予算額は2,233万1,000円で、前年度対比2,003万円の減額でございます。その主な減額内容としましては、前年度計上しました戸籍総合システムの更新が終了による13節委託料の住民記録システム戸籍連携処理改修委託料193万8,000円の減額、18節備品購入費で戸籍総合システム更新費1,944万円の減額によるものです。また、主な増額内容としまして、2節給料から4節共済費の人件費に係る職員の

給与の改定に伴うもので12万5,000円の増額、11節需用費の印刷製本費で戸籍、住民票証明の改ざん防止用紙の印刷代等25万7,000円の増の34万3,000円、13節委託料のカード裏面プリンター保守委託料として新たに5万2,000円を計上、これは住民の異動等に伴う通知カード、マイナンバーカード等に履歴を記載するためのシステム保守として計上しました。また、通知カード等関連事務委託料では、新たに48万8,000円を計上しております。これは、地方公共団体情報システム機構、J-LISに業務委託しております通知カード、マイナンバーカードの発行等に係る経費でございます。47ページに移りまして、18節備品購入費ではパスポート交付のIC旅券窓口交付端末機更新として32万2,000円を新たに計上しております。この他の節につきましては、事業実績等を勘案し、前年度と同様な額を計上したところでございます。46ページに戻りまして、特定財源としまして諸証明手数料、新たに通知カード等関連事務事業補助金は先ほど13節委託料で説明しました地方公共団体情報システム機構に業務委託の補助金として同額の48万8,000円を見込み、中長期在留者住居地届出等事務委託金、権限移譲交付金、人口動態調査事務委託金を合わせて333万5,000円を充当しております。

以上で説明を終わらせていただきます。

細井
委員長
寺田
選挙管理
委員会
事務局長

選挙管理委員会事務局長。

選挙管理委員会事務局長、寺田より説明申し上げます。

47ページ、4項1目選挙管理委員会費では予算額792万6,000円で、前年度対比12万7,000円の増額で、その主な内訳は2節から4節の人件費の増額によるものでございます。

次に、2目参議院議員通常選挙費は、本年7月に予定されています参議院議員通常選挙の費用で、1節報酬から48ページの14節使用料及び賃借料までの合わせまして664万4,000円を計上しております。特定財源といたしまして、選挙委託金を全額充当するものでございます。

知事道議会議員選挙費、町議会議員選挙費は、本年度は予定がないことから廃目としております。

以上で説明を終わります。

細井
委員長
寺田総務
企画課長

総務企画課長。

5項1目統計調査総務費について総務企画課長、寺田より説明申し上げます。

予算額は506万1,000円で、前年度対比344万3,000円の減額で、その主な内容でございますが、2節から4節までの人件費で31万2,000円の増額、国勢調査の完了によりまして各節においてその経費分、合計で399万5,000円を減額しております。特定財源は、それぞれ記載のと

細 井
委 員 長

おり各調査委託金を充当するものでございます。
以上で説明を終わります。
監査委員会事務局長。

瀬口監査
委 員 会
事 務 局 長

6 項 1 目 監 査 委 員 費 の 予 算 総 額 は 239 万 6, 000 円、 対 前 年 度 比 1 万 3, 000 円 の 減 額 で、 各 節 お お む ね 前 年 同 様 の 予 算 を 計 上 し た と こ ろ で ござい

ます。
以上で説明を終わります。

細 井
委 員 長

以上で説明が終わりました。
議会費、総務費の質疑については、明日行いたいと思います。
明日は、10時から特別委員会を再開いたしたいと思います。
本日はこれにて散会をいたします。
お疲れさまでした。

(午後 3時24分)